

〔類聚符宣抄〕四太政官符、中務式部、民部、大藏宮内等省、

昌子内親王歳壹

右太上天皇〇朱雀親王所定如件省宜承知、依例行之、符到奉行、

右中辨

左大史

天曆四年八月十日

〔榮花物語〕一朱雀院は御子たちおはしまささり、たゞ王女御子〇ときこえける御はらに、えもいはすうつくしきをんなみこ子〇昌一所ぞおはしましける、は、にようごも御子みつにてうせ給にしかば、みかど雀〇朱われひとゝころ、こゝろぐるしき物にやしなひたてまつり給ける、いかでささきにすゑたてまつらんとおぼしけれど、れいなきことにてくちをしくてどすぐさせ給ける、昌子内玄んわうとどきこえさせける、

〔本朝世紀〕治曆四年八月十四日、〇中略又内大臣於仗座被下女親王四人宣旨、聰子、俊子、富子、佳子左少辨正家奉之、

〔台記〕久壽元年八月十八日己亥、饗儀了参内、〇中略更闌光頼朝臣來曰、只今新大納言参入、可用壽字之由所申也、余答曰、壽者衛宣公之子、遇殺者名也、見桓十六年左傳非無其忌如何、光頼退告大納言、大納言

曰、夜及深更、不能奏鳥羽、勘例統子内親王宣旨後改名、依彼例今夜用壽字、後日改名何事之有乎、余即著陣、光頼朝臣下親王名、余結申、光頼曰、可爲内親王、余稱唯卷之、召左大辨下之、大辨退下、次光頼

來、仰以待從藤原朝臣成通爲内親王別當之由、即仰左大辨不召立又示成通卿、次成通公教重通公能等卿進射塲奏慶、此間余參鳥羽北殿奏慶、土佐守季行朝臣別當傳奏、是大將慶也、此間曉鐘頻報、次昇

堂、家司職事申慶了、余退出、東三條大將饗三獻間、新大納言奏、院宣送親王名字勘文曰、依閣下定申本勘申、依壽諱不被用、依仰重擇申也、見件勘文、載殊擇好三字、申曰、禮儀中間不能勘文書、但殊擇無殊